

2024(令和6)年7月9日

報道関係者 各位

松 山 大 学
(全2枚送信)

新田高等学校主催・本学共催 iPS細胞を用いて網膜移植手術を成功させた医師が登壇
神戸市立 神戸アイセンター病院 院長
栗本康夫氏 科学講演会 開催
7月16日(火) 10時20分より 本学カルフル・ホールにて

松山大学では、2024年7月16日(火)、本学カルフル・ホールにて世界で初めてiPS細胞を用いた網膜移植手術の成功をおさめられた、神戸市立神戸アイセンター病院 院長 栗本 康夫(くりもと やすお)先生をお招きし、講演会を開催いたします。

この講演会は、新田高等学校主催・松山大学共催にて行うもので、医学や薬学に関心のある学生に向けて、眼科の最先端医療や、視覚障がい等に関する講演を開催し、今後の職業選択やスキルアップへの関心・意欲を高めることを目的として行われるものです。また、高校生については、今後の進路選択の一助になることを期待し、年々減少傾向にある理系人材の育成を目指すものです。

本学ともかかわりが深い新田高等学校とともに、高校・大学が連携して学生に最先端の知識を提供する機会となります。ぜひ、ご取材ください。

- 日 時： 7月16日(火) 10時20分～12時10分(講演は90分を予定)
- 場 所： 松山大学 カルフル3階 カルフル・ホール
- 対 象： 新田高等学校1～3年生 約380名(スーパー特別進学・特別進学コース)
新田高等学校教員 約15名
松山大学薬学部生 約80名 松山大学薬学部教員 約10名
- 講 演 者： 神戸市立神戸アイセンター病院 院長 栗本 康夫 氏
- 演 題： 「iPS細胞が切り拓く眼の再生医療」
- 次 第： 開会及び講師紹介 10時20分～10時30分
講 演 10時30分～12時00分
お礼の言葉および閉会 12時00分～12時10分

〔講師経歴〕 栗本 康夫(くりもと やすお)

<学 歴> 1986年3月 京都大学医学部卒業
1995年3月 京都大学大学院医学研究科博士課程修了

<職歴等> 1992年4月 国立京都病院 眼科医師
1993年2月 神戸市立中央市民病院 眼科医師
1997年4月 信州大学医学部眼科学教室 講師
2000年3月 ハーバード大学スケパンス眼研究所 研究員
2002年3月 信州大学医学部眼科学教室 講師復職
2002年7月 同 助教授
2002年12月 神戸市立中央市民病院 眼科医長
2003年4月 同 眼科部長代行
2006年4月 同 眼科部長
2017年12月 神戸市立神戸アイセンター病院 院長



【学内地図】

